

位置図



こいでがわ
一級河川 小出川

河川改修事業



一ツ橋付近 令和6年11月撮影

河川のはん濫を防ぎ、自然環境などに配慮した取組み

事業の目的

小出川は、藤沢市遠藤付近にその源を発し、茅ヶ崎市と寒川町の市境を流れ、平塚市の須賀で相模湾に注ぐ、延長約 11km、流域面積約 35km² の一級河川です。

このうち、藤沢土木事務所では、茅ヶ崎市内の「富士見橋」から、藤沢市内の「諸之木橋」までの延長約 10.5km の区間を管理しています。

小出川では、近年、激甚化、頻発化する洪水などの自然災害から県民の生命、財産を守るため、時間雨量 50mm^(※) の降雨に対応できるように川幅を拡げながら護岸の整備を重点的に取り組んでいます。また、人や自然にやさしい水辺の整備にも取り組み、安全で安心できる水辺空間の創出を図っています。

令和5年度までに「浜園橋」付近の一部を除いた、「富士見橋」から「一ツ橋」までの延長約 6.5 km の区間の護岸整備が概ね完了しました。

現在は、「浜園橋」の架替及び周辺の護岸整備、「一ツ橋」から「追出橋」までの護岸や遊水地の整備を進めています。

※ 時間雨量 50mm とは、6.3 年のうち毎年約 16% の確率で生じる降雨量をいいます。



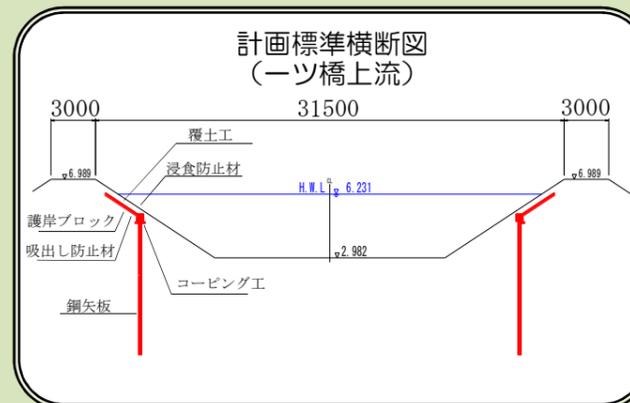
改修前の状況(寺尾橋下流)



改修後の状況(寺尾橋下流)

事業の概要

- 河川名：一級河川 小出川（こいでがわ）
- 計画降雨：時間雨量 50mm
- 護岸整備済区間：延長約 6.5km
(管理延長の約 62%) 富士見橋～一ツ橋
- 護岸整備中・整備予定区間：延長約 4.0km
(管理延長の約 38%) 浜園橋、一ツ橋～諸之木橋
 - ・浜園橋：橋梁架替及び護岸整備中
 - ・一ツ橋～追出橋：護岸及び遊水地の整備中
 - ・追出橋～諸之木橋：調査中(測量・地質調査等)



自然環境に配慮した護岸整備



護岸ブロック+覆土構造



覆土には発生土や植生マットを利用することで在来植生の回復や法面の保護を配慮

平面図

